

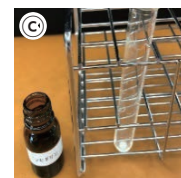
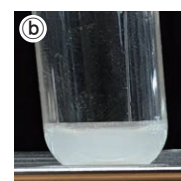
馬尿酸塩ディスク



- *Campylobacter jejuni* と *Campylobacter coli* の鑑別試験が実施できます。
- 他の同定方法による判定結果の確認試験としても使用できます。

使い方

- 1 小試験管に馬尿酸塩ディスクを1枚入れて、pH中性(6.5~7.2)の滅菌水をスポイトで4滴滴下して下さい。【写真①】
- 2 純培養した平板培地から8~10か所のコロニーを釣菌し①の溶液に懸濁させます。懸濁液が乳白色で不透明な状態(McFarland No.3またはそれ以上)であることを確認して下さい。【写真②】
- 3 ふ卵器にて35~37℃で2時間培養します。
- 4 培養後、1~2滴のニンヒドリン試薬を添加し、軽く混和してから1~15分室温に放置します。【写真③】
- 5 15分以内に濃い青~黒/青色を呈したら陽性と判定します。薄い色であった場合は陰性です。【写真④⑤】



商品概要

Campylobacter 属は、31 菌種 13 亜種 (2018 年 4 月現在) に分類されています。このうち、感染性腸炎の原因菌として *C. jejuni* と *C. coli* が分離されます。症状は下痢、腹痛、発熱、悪心、嘔吐、頭痛、悪寒、倦怠感などであり、他の感染型細菌性食中毒と酷似しますが、潜伏期間が一般に 2~5 日間とやや長いことが特徴です。

C. jejuni と *C. coli* は、グラム陰性のらせん状あるいはコマ状細菌で微好気状態で発育します。馬尿酸塩加水分解の最終生成物であるグリシンはニンヒドリンと反応して暗青色を生じることを利用して、馬尿酸塩の分解能を調べることにより *C. jejuni* と *C. coli* の鑑別を行うことが可能です。

保存

フタをしっかり締めて、2~8℃の温度帯で保存して下さい。

●*Campylobacter* 属菌の生化学的性状

性状	菌種	<i>C. jejuni</i>	<i>C. coli</i>	<i>C. fetus</i>
	発育試験	25℃	-	-
42℃		+	+	-
オキシダーゼ活性		+	+	+
カタラーゼ活性		+	+	+
ウレアーゼ活性		-	-	-
硝酸塩還元能		+	+	+
馬尿酸塩加水分解		+	-	-

品番	入り数	価格 (税抜き)
SDL-K710310	50 枚	13,000 円

パンフレット監修：東京医科大学微生物学講座 教授 大楠 清文
株式会社ミロクメディカルラボトリー

〈製造〉

米国・KEY SCIENTIFIC PRODUCTS 社

〈販売〉



株式会社スギヤマゲン

since 1932

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-34-9

TEL. 03-3814-0285 FAX. 03-3815-3045